

お知らせ

Press Information

メルセデス・ベンツの究極のエコカー F-Cell (エフ・セル) DHL 仕様車を FC EXPO 2008 に展示

2008年2月22日

メルセデス・ベンツ日本株式会社(以下 MBJ、社長:ハンス・テンペル、本社:東京都港区)は、燃料電池車「F-Cell」(エフ・セル)の走行実証試験の取り組みに関する活動報告の一環として、ディー・エイチ・エル・ジャパン株式会社(以下 DHLジャパン、社長:ギェンター・ツォーン、本社:東京都品川区)が集配業務に使用している F-Cellを「FC EXPO 2008 第4回【国際】水素・燃料電池展(於:東京ビッグサイト、2/27~29)」に展示します。

DHLジャパンでは環境に配慮した取り組みとして2006年7月より F-Cellを東京都内での集配業務車両として使用しています。MBJでは継続的にその走行データを収集し、車両の開発製造元であるダイムラーAG(以下 DAG)における燃料電池車の開発に活用しています。この取り組みは、実際の業務での使用を通じて「燃料電池自動車および水素エネルギー利用に関する様々な効果を検証、評価し普及を推進する」という水素・燃料電池実証プロジェクト^{*}(JHFCプロジェクト)の趣旨に沿って実施しているものです。

MBJは、同様の取り組みを東京ガス株式会社、株式会社ブリヂストンとも行い、環境に配慮した活動に積極的に取り組んでいます。

燃料電池車のパイオニアであるDAGは、1994年に世界で初めて燃料電池車を発表しました。現在では世界最多となる100台以上の燃料電池車を世界各地に納車しており、その総走行距離は370万km以上にも達し、最も経験豊かな自動車メーカーとなっています。DAGでは、燃料電池車の大規模な普及開始時期を2012年から2015年と見込んでおり、2010年にはメルセデス・ベンツ Bクラスをベースとした F-Cellの生産・導入をスタートする予定です。

水素・燃料電池実証プロジェクト (JHFC プロジェクト) :

財団法人日本自動車研究所 (JARI)、財団法人エンジニアリング振興協会 (ENAA) が、燃料電池自動車等と、多種多様な水素製造方式による水素ステーションを運用する大規模な実証試験として、平成14年度より継続して実施している経済産業省の「燃料電池システム等実証研究事業」です。JHFCとは、経済産業省が実施する「水素・燃料電池実証プロジェクト」の略称で、燃料電池自動車の実用化に向けて様々な活動を行っています。

JHFCホームページ: <http://www.jhfc.jp/>



実際の集配業務に使用されている F-Cell (エフ・セル)